

報道関係者各位

2024年7月24日

株式会社ラクーンホールディングス

**ラクーンホールディングス、生成系 AI 勉強会で生まれた
社内用 AI アシスタント「おっさんずナビ」の運用開始
業務に関する疑問からおすすめランチまで社内の困りごとを解決**

株式会社ラクーンホールディングス（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小方 功、以下 ラクーンホールディングス）は、このたび、社員のさまざまな質問・相談・依頼に答える社内用 AI アシスタント「おっさんずナビ」の運用を開始しました。



ossans_navi

■「おっさんずナビ」とは

おっさんずナビは、ChatGPT などの大規模言語モデルと RAG（Retrieval-Augmented Generation）を利用した Slack ボットです。Slack ワークスペースでアプリを起動するだけで使うことができ、社内で生まれるちょっとした疑問解決やアイデアの壁打ちなどさまざまな要望に柔軟に対応します。

■「おっさんずナビ」誕生の場

ラクーングループでは、昨年より「業務に関する生成系 AI の活用アイデア」をテーマに、生成系 AI 勉強会（旧：ChatGPT 勉強会）を社内で開催しています。勉強会のなかでは、基礎知識の説明、アイデア出しのワークショップのほか、事業部とエンジニアがチームを組んで生成系 AI を実務でどう活用できるか検討し発表する LT 大会を実施しています。

「おっさんずナビ」は、第三回目となる生成系 AI 勉強会内の LT 大会にて、事業部とエンジニア（自称おっさんずの社員 2 名）がペアを組み、「入社したばかりで、話の過去の経緯などが分からない」、「誰かに聞くほどではない小さな疑問」、「プライベートなことで、

ちょっと聞きづらい質問」、「Slack の検索機能をうまく活用できていない」などの現場の課題をどう解決できるか、アイデアを出し合って発案されたものです。

◆現場のこんな課題を解決するために生まれた

入社したばかりで、話の過去の経緯などが分からない

誰かに聞くほどではない小さな疑問

プライベートなことで、ちょっと聞きづらい質問

slackの検索機能をうまく活用できていない



おっさんずナビ

■「おっさんずナビ」の特徴

- ① 質問に対して社内事情を踏まえた回答をする
- ② 社内の固有の知識・情報をもとに、過去の事例を踏まえた社内施策などの壁打ちが Slack 上で簡単にできる
- ③ 質問者と詳しい人を結びつける働きがある

① 質問に対して社内事情を踏まえた回答をする

Slack 上でメンションまたは DM をして質問/相談/依頼をすると、ラクーングループの Slack ワークスペース内の情報をもとに「おっさんずナビ」が質問に答えます。その他、必ずしもおっさんずナビに呼びかけたものでなくても、おっさんずナビが対応可能なメッセージであれば積極的に回答されます。

◆質問：ラクーンホールディングスの社風について教えてください。

 6日前
@ossans_navi
Slack上のやりとりから見える、ラクーンホールディングスの社風について教えてください。

気になる 1 

1件の返信

 ossans_navi アプリ 6日前
以下のやりとりから、ラクーンホールディングスのいくつかの社風が見て取れます。

- 1. リモートワークの活用:** リモートワークの積極的利用や、労働時間とコストの節約を重視しています。例えば、小方 功さんの発言では、リモートワークを効果的に利用しつつ、物理的な空間を共有する重要性も認識していることがわかります。
- 2. ワークライフバランスの重視:** さんのコメントや、さんの「バランス取るべきワークとライフのライフって、生活じゃなくて人生だなあと改めて」といった発言から、社員のワークライフバランスを尊重していることが伺えます。
- 3. コミュニケーションと協力:** さんが「アウトプットを増やそう」と呼びかけたように、知識の共有や社内勉強会などを通じて社員同士のコミュニケーションを重視していることがうかがえます。
- 4. 従業員エンゲージメント:** さんの「フェアトレードの学び」といった社会貢献活動への関心や、さんの「組織力の継続的な向上」といった発言から、ほかの社員とのつながりを大切に、従業員のエンゲージメントを高める努力が見受けられます。
- 5. 多様性と成長のサポート:** さんの「心理的安全性のつくりかた」といった読書内容

② 社内の固有の知識・情報をもとに、過去の事例を踏まえた社内施策などの壁打ちが Slack 上で簡単にできる

◆質問：社内コミュニケーション活性化のためにこれまで実施された施策を教えてください。

 ossans_navi アプリ 12日前

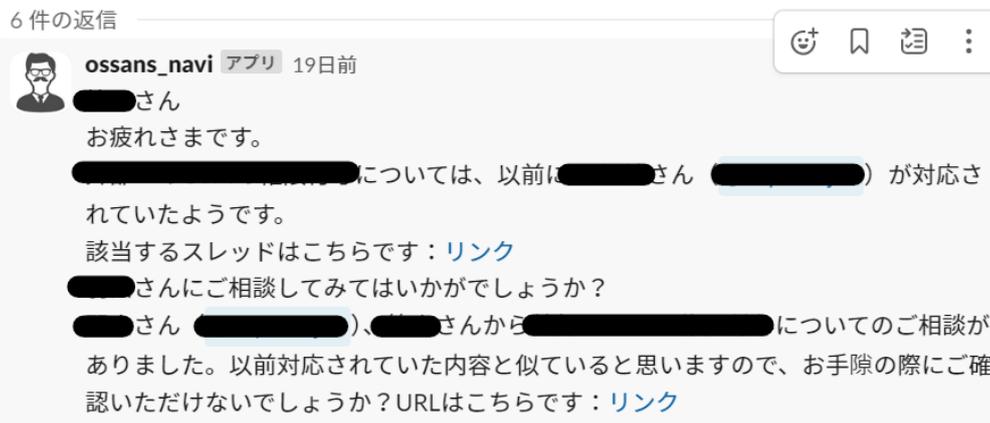
社内コミュニケーションを活性化するために、これまで次のような施策が実施されました：

- 1. 朝会の開催:** マーケティング部では毎朝短時間のミーティングを実施し、最近の良かったことや新しい発見を共有する「Good&New」を行っています。目的はアイスブレイクやポジティブな雰囲気での業務開始です。詳細は [こちら](#) で確認できます。
- 2. Discordの常時接続:** 在宅勤務中も気軽に話しかけられるよう、マーケティング部では Discordを用いて常時接続環境を作り、リアル職場のような雰囲気を目指しています。詳細は [こちら](#) です。
- 3. 業務外つぶやきチャンネル:** デザイン部では、業務外のラフな会話を促進するための、timesに近いイメージのチャンネルを設けています。これにより、日常的なコミュニケーションが増えています。
- 4. 3~4人の月一部内ツアー:** デザイン思考に役立つアート鑑賞やフォト散歩などを月一で実施し、部内の交流を深めています。

これらの施策は、皆さんの意見や工夫が反映されたものとなっております。他にも気になる情報があればお知らせください！

③質問者と詳しい人を結びつける働きがある

質問者が誰に聞けばいいかわからない時、おっさんずナビが自動的に適切な人を見つけ、メンションします。



■「おっさんずナビ」開発者による開発秘話について詳しくはこちら

<RACCOON TECH BLOG>

社内用 AI アシスタント「おっさんずナビ」を作った話、そして人間らしく振る舞う重要性を認識した話（株式会社ラクーンホールディングス技術戦略部 羽山純）

<https://techblog.raccoon.ne.jp/archives/1719796918.html>

今後もラクーンホールディングスは、社内の業務効率化を図り、グループ全体でよりよいサービス運営につなげていけるよう尽力してまいります。

■参照

株式会社ラクーンホールディングス <https://www.raccoon.ne.jp>

ラクーンホールディングスは「企業活動を効率化し便利にする」を経営理念に、グループ全体で企業間取引に特化した事業を展開しています。EC事業とフィナンシャル事業を柱とし、EC事業では国内版の卸・仕入れサイト「スーパーデリバリー」とその越境EC版「SD export」、フィナンシャル事業では企業間後払い決済「Paid」、売掛保証サービス「URIHO」、居住用/事業用家賃保証を展開しています。



株式会社ラクーンホールディングス

代表者：代表取締役社長 小方 功
所在地：東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目14番14号
設立：1995年9月
資本金：1,864,071千円（2024年4月末現在）
株 式：東京証券取引所プライム市場上場 証券コード 3031
U R L：https://www.raccoon.ne.jp

本件に関するお問合せ先

広報担当 矢次・大久保
MAIL：pr@raccoon.ne.jp

サービスに関するお問合せ先

技術戦略部
https://www.raccoon.ne.jp/fumi
/r/inquiry/input?type=inquiry